

Japanese Association of Tomography

断層映像研究会 第32回 研究発表会 プログラム

メインテーマ

断層映像の新たな展開 —形態診断から機能診断へ—

会 期：平成15年11月14日(金)・15日(土)

会 場：日本大学会館

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24

TEL：03-5275-8110



大会長：田中良明

(日本大学医学部放射線医学教室)

第32回断層映像研究会の開催にあたって

第32回断層映像研究会

大会長 田中 良明 (日本大学医学部放射線医学教室)

このたび、第32回断層映像研究会を平成15年11月14日(金)、15日(土)の2日間にわたって、東京都千代田区の日大会館で開催することになりました。都心で開催するのは第26回研究会以来6年振りです。ご存知のとおり、断層映像研究会は、当初は多軌道断層撮影や回転横断撮影など、アナログ時代の断層撮影に関する撮影技術の開発と臨床応用研究を中心に活動してきましたが、その後、CT、MRI、PETなどの新技術の導入とデジタル画像への移行により、一気に研究分野が拡大しました。そしてこれらの断層映像は日常診療においても幅広く利用されています。放射線診断の中で、断層像がこれほど普及、浸透するとは、研究会の立ち上げに奔走された故松川、高橋両教授も予想していなかったのではないのでしょうか。

さて本年の研究会のメインテーマですが、「断層映像の新たな展開—形態診断から機能診断へ—」としました。これは新たな撮影技法の進歩により、断層映像による診断も、これまで以上に形態的異常から機能的異常の領域に踏み込んできた感がするからです。そして特別企画として、以下の三つのシンポジウム、「マルチディテクタCT (MDCT) の最新情報」、「画像診断の進歩と放射線治療—治療計画と効果判定にどのように役立っているか—」、「PET診断のすべて」と、ワークショップ「肺病変を断層像でどこまでとらえられるか」を取り上げました。いずれも、断層映像に関する最新のトピックスを盛り込んだ内容ですので、会員の皆様にはきっとご満足していただけるものと確信しています。

特別講演は、英国から Adrian K Dixon 先生 (Department of Radiology, Addenbrooke's Hospital and the University of Cambridge) をお招きし、英国における放射線診断ガイドラインの内容について講演していただくことになりました。Dixon 先生は、英国の放射線科専門医会で「放射線診療におけるガイドライン」の作成委員長として活躍されましたので、わが国におけるガイドライン作成に関与されているワーキンググループの先生方にもきっと参考になるのではないかと思います。

本研究会の機関誌である断層映像研究会雑誌もオンラインジャーナルに収録され、論文の検索やダウンロードができるようになりました。本研究会で発表された方々には、是非とも発表内容を論文としてまとめていただき、本誌を通じて広く世の中にその成果を公表していただきたいと思います。

研究会の盛衰は、まさに参加者一人一人の熱意と心意気にあると思います。季節も学会シーズンとしてふさわしい時期です。大勢の方々のご参加と、熱心な研究発表ならびに活発なご討議を期待しています。

平成15年仲秋

参加者へのご案内

1. 会場への交通

- ・JR・総武線：市ヶ谷駅 徒歩2分
- ・地下鉄：都営新宿線・営団有楽町線・営団南北線：市ヶ谷駅下車 徒歩1分
- ・懇親会会場「アルカディア市ヶ谷」へも同様の経路になります。

2. 受付

- ・参加受付：11月14日（金）午前8時30分より日本大学会館2階総合受付にて行います。
- ・参加費：6000円 学生：3000円
- ・研究会入会・年会費の受付も行います。
一般演題の筆頭発表者は会員に限ります。非会員である場合は入会手続きを行ってください。

3. 昼食

第1日目にランチョンセミナーを共催いたします。

4. 懇親会

日 時：平成15年11月14日（金）18:00～20:00

会 場：アルカディア市ヶ谷5階 大雪の間

参加費：3000円

参加受付：参加費は当日、総合受付にてお支払い下さい。



◀アルカディア市ヶ谷

5. 宿泊

本研究会誌5月号（Vol.30 No.1）の宿泊案内をご参照下さい。

インターネットでもご覧頂けます。

宿泊案内：http://www3.nta.co.jp/convention/jat32_0.htm

6. その他

ご不明の点は事務局または受付までお問い合わせ下さい。

事務局：〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町30-1 日本大学医学部放射線医学教室内
第32回断層映像研究会事務局 担当 奥畑好孝

TEL：03-3972-8111（内線2553） FAX：03-3958-2454

e-mail：danso03@med.nihon-u.ac.jp

web site：<http://www.med.nihon-u.ac.jp/department/radiology/danso03.htm>

研究会当日：〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24

日本大学会館

TEL：03-5275-8110（代表）

会場案内

研究会会場の「日本大学会館」、懇親会会場の「アルカディア市ヶ谷」は、JRおよび地下鉄：都営新宿線・営団有楽町線・営団南北線の各「市ヶ谷」駅より徒歩約2分です。



- 営団地下鉄 市ヶ谷駅出口(有楽町線・南北線)
- 都営地下鉄 市ヶ谷駅出口(新宿線)

交通手段

・東京駅より

「東京」駅→中央線快速→「御茶ノ水」駅→中央・総武線各駅停車→「市ヶ谷」駅(約15分)

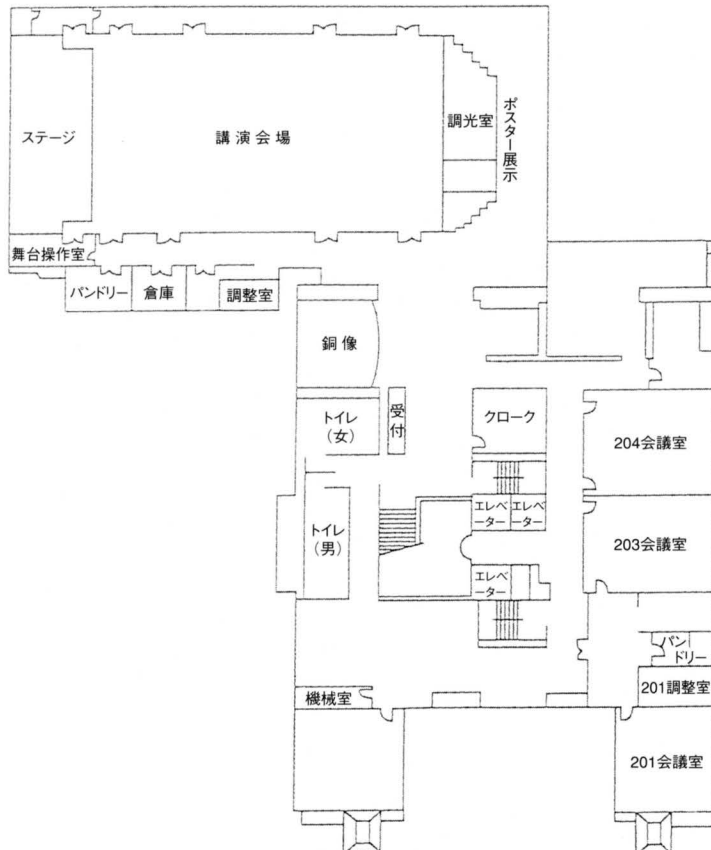
「東京」駅→山手線(外回り)→「有楽町」駅→営団有楽町線→「市ヶ谷」駅(約15分)

・羽田空港より

「羽田空港」駅→東京モノレール→「浜松町」駅→山手線(内回り)→「有楽町」駅→営団有楽町線→「市ヶ谷」駅(約50分)

「羽田空港」駅→東京モノレール→「浜松町」駅→山手線(内回り)→「秋葉原」駅→中央・総武線各駅停車→「市ヶ谷」駅(約55分)

「羽田空港」駅→京急本線・空港線特急→「品川」駅→山手線(内回り)→「有楽町」駅→営団有楽町線→「市ヶ谷」駅(約55分)



・講演会場

正面入口より階段を利用してください。

・編集委員会

平成15年11月13日(木)16:00～17:30
日本大学会館 2階 204会議室

・世話人会

平成15年11月14日(金)12:00～13:00
日本大学会館 2階 203会議室

・懇親会

平成15年11月14日(金)18:00～20:00
アルカディア市ヶ谷 5階 大雪の間
(日本大学会館の道向かい)

第1日目 11月14日(金)

9:00 9:05	9:45 9:50		12:00	13:00 13:05	13:15 14:05	15:05 15:10		17:20	18:00～
大会長挨拶	一般演題（胸部）		シンポジウム1		ランチョンセミナー		総会	一般演題（胸部）	
					特別講演			シンポジウム2	
									懇親会

第2日目 11月15日(土)

9:00	9:50	12:00	13:00	15:00	15:05
一般演題(その他)	シンポジウム3	昼食	ワークショップ	閉会挨拶	

第32回断層映像研究会

メインテーマ：断層映像の新たな展開－形態診断から機能診断へ－

プログラム

第1日目 11月14日(金)

9:00－9:05 大会長開会挨拶(田中良明)

9:05－9:45 一般演題：胸部

座長：吉田 祥二(高知医大)

1. 肺気腫と特発性肺線維症(IPF)の併存症例における胸部CT像の検討

小谷 敬太(高知医大)

2. CT生検標本所見と手術標本所見とのmismatch－小型肺腺癌の野口分類上－

植 博信(高知医大)

3. 肺葉外肺分画症の診断にMDCT－Angiographyが有用であった一例

大野 仁司(埼玉医大総合医療セ)

4. 肺癌CT検診の臨床的メリットとリスク

田中 利彦(神奈川県予防協会)

9:50－12:00 シンポジウム1

「マルチディテクタCT(MDCT)の最新情報」

司会：杉村 和朗(神戸大)、大友 邦(東京大)

1. マルチスライスCTの特徴

片田 和廣(藤田保健衛生大)

2. 中枢神経系・頭頸部のMDCT

青木 茂樹(東京大)

3. 16スライスCTの心臓、血管への応用

陣崎 雅弘(慶應大)

4. MDCTによる縦隔画像診断

富山 憲幸(大阪大)

5. 肝・胆・膵

吉満 研吾(九州大)

6. 腎臓・尿路系の診断におけるマルチスライスCTの役割

山下 康行(熊本大)

7. 骨軟部

藤井 正彦(神戸大)

12:00－13:00 ランチョンセミナー

座長：栗林 幸夫(慶應大)

MDCTによる血管系画像診断－ECG Gated CTの現状－

高瀬 圭(東北大)

13:05－13:15 総会

13:15－14:05 一般演題：腹部

座長：貞岡 俊一(慈恵医大)

5. 16列検出器マルチスライスCTを用いた一呼吸停止下多時相撮影による

胃周囲動静脈multiphase fusion画像

松木 充(大阪医大)

6. Fecal tagging法を用いたMR-colonography

細沼 知則(慈恵医大)

7. 特異な壁外発育を呈したS状結腸癌の一例 長田 久人(埼玉医大総合医療セ)

8. 16列MDCTと低濃度造影剤を使用した腎尿路系の描出 山名 大吾(三宿病院)

9. 腎腫瘍に対するCTガイド下ラジオ波凝固療法 of 初期経験

生口 俊浩(岡山大)

14:05－15:05 特別講演

「Cross sectional imaging of the abdomen: Guidelines and referral criteria」

Adrian K Dixon, MD (Addenbrooke's Hospital and University of Cambridge)

座長：田中 良明(日大)

15:10-17:20 シンポジウム2

「画像診断の進歩と放射線治療－治療計画と効果判定にどのように役立っているか－」

司会：田村 正三(宮崎医大)、晴山 雅人(札幌医大)

1. 頭頸部腫瘍の放射線治療計画における画像診断の有用性 岡嶋 馨(近畿大)
2. 放射線肺臓炎－画像と臨床像－ 山崎 秀哉(大阪府立成人病セ)
3. 原発性肺癌に対する放射線および化学療法CTによる腫瘍効果判定
－組織学的腫瘍効果判定との比較検討－ 栗山 啓子(大阪府立成人病セ)
4. 膀胱癌の深達度診断におけるdynamic MRIの有用性 水野 恵子(岩手県立中央)
5. 悪性リンパ腫の病期診断と治療効果 鹿間 直人(信州大)

【指定発言】

1. 放射線脳壊死と腫瘍再発の鑑別におけるL-[methyl-¹¹C]-methionine PET (Met-PET)
加藤 徳雄(北海道大)
2. 頭頸部悪性腫瘍のDynamic MRI-angiogenesisの診断 秋葉 英成(札幌医大)

18:00-20:00 懇親会 於：アルカディア市ヶ谷 5階 大雪の間

第2日目 11月15日(土)

9:00-9:50 一般演題：その他

座長：信澤 宏(昭和大)

10. 歯科用X線CT (3DX Multi Image Micro CT) の評価
－Multi-Detector CTとの比較－ 川嶋 祥史(日大歯学部)
11. 新しい3D画像ワークステーションReal INTAGEの使用経験 古橋 哲(日大)
12. MRIにて診断し得た脂肪芽腫の一例 宮良 哲博(琉球大)
13. Autopsy Imaging－症例で見る死後CTの利用法－ 塩谷 清司(筑波メディカルセ)
14. 突然死をきたし死後のMRIで判明した肺塞栓症の1例 竹本 明子(日大)

9:50-12:00 シンポジウム3

「PET診断のすべて」

司会：中條 政敬(鹿児島大)、遠藤 啓吾(群馬大)

1. PET装置－最近の進歩－ 福田 寛(東北大)
2. 精神・神経疾患(てんかんを中心に) 松田 博史(国立精神神経センター武蔵)
3. 心疾患病態評価における定量計測 森田 浩一(北海道大)
4. 脳腫瘍、頭頸部癌、肺癌、乳癌のFDG-PETについて 井上登美夫(横浜市大)
5. PETによる腫瘍診断－腹部領域での応用－ 伊藤 健吾(国立長寿研)
6. PETを中心とした成人病検診 井出 満(山中湖クリニック)

【指定発言】

1. 画像診断センターにおけるPET診断の役割と問題点 宇野 公一(西台クリニック)

12:00-13:00 昼食

13:00-15:00 ワークショップ

「肺病変を断層像でどこまでとらえられるか」

司会：伊藤 春海(福井医大)、本田 憲業(埼玉医大総合医療セ)

1. 肺・縦隔・胸壁の画像解剖 芦澤 和人(長崎大)
2. 肺実質性病変 田中 伸幸(山口大)
3. 肺間質性疾患 林 英博(岡山赤十字)
4. 肺腫瘍病変 楠本 昌彦(国立がんセンター中央)
5. 肺血管性疾患におけるCT、MRI診断 大野 良治(神戸大学)
6. 低線量マルチスライスCTを用いた肺癌検診 近藤 哲郎(栃木県立がんセンター)

【指定発言】

1. 超高分解能CTを用いた肺末梢構造の描出 居倉 博彦(愛媛大)

15:00-15:05 閉会の辞

口演発表者へのご案内

今回の大会では、PCプレゼンテーションに限らせていただきます。スライドでの発表はできませんので、ご了承下さい。

パソコンの持ち込みについて

1. PCプレゼンテーションにつきましては、ご自身でパソコン（必要な場合は接続アダプター）を持ち込んでの発表に限らせていただきます。
2. パソコン用の電源として、会場にはコンセント口を用意いたします。各自でコンセント用電源アダプターをご持参下さい。
3. プロジェクタに接続するコネクタの形状はDsub-15pinです。一部の薄型ノートパソコンなどで、この端子でないものは別売りのアダプタが必要となりますので、必ずご用意下さい。
4. 尚、念のためバックアップ用としてCD-RやMOなどのメディアにデータを保存したものをご持参下さい。

発表手順について

1. 発表の30分前までに試写室にて出力をチェックしてください。試写室にはオペレーターが待機しております。
2. 試写室にてチェックの上、セッションの始まる15分前には会場へパソコン（必要な場合は接続アダプター）をお持ち下さい。会場には次演者席付近にオペレーターが待機しておりますのでプロジェクターへの接続をお申し出下さい。
3. プロジェクターへの接続はオペレーターが行いますが、発表時の操作はご自身で行ってください。

発表時間について

1. シンポジウム、ワークショップの発表者は、事前の打ち合わせの指示に従ってください。
2. 一般演題は、発表7分、討論3分とします。

展示発表のお知らせ

今回は、一般演題の発表者には展示発表もしていただくことになりました。これは研究発表に使用された断層映像の写真類を、ゆっくり参加者に見ていただくという趣旨で企画したものです。展示討論は行いません。

ポスターについて

1. タイトル・所属・氏名の大きさ：縦13.5cm×横100cm
2. 資料の大きさ：縦90cm×横116cmを2段
（ポスターの貼り付け可能なサイズは1段につきB4シートで縦3枚、横3枚の計9枚です）
3. 演題番号は事務局で用意します。
4. ポスターの展示は、会場横のロビーで行います。
5. ポスターの貼り付けは、事務局の用意した専用の両面テープを使用して下さい。
6. ポスターの貼り付けは、大会初日の11月14日（金）9時から12時の間に行ってください。
7. 撤去は大会2日目の11月15日（土）13時から15時の間に行ってください。
8. 撤去時間以降に残ったポスターは事務局で処分します。

演題番号（事務局で準備します）

